



千葉市立貝塚中学校 学校だより

校訓： 自主・創造・練磨

第30号

令和3年3月24日発行

千葉市立貝塚中学校

TEL231-7077

◆貝塚中を巣立つ 君たちへ◆ (卒業証書授与式 校長式辞より)

草木もようやく長い眠りから覚め、生命の息吹が感じられる季節となりました。
本日、この良き日に、本校第35回卒業証書授与式を挙げていきますことを、心より感謝申し上げます。

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。3年間の学校生活を無事に終えられたこと、心よりお祝いします。保護者の皆様には、お子様が9年間の義務教育を無事に終えられたこと、心よりお祝い申し上げます。中学校の3年間は心も身体も急速に変化することから、戸惑い、ご苦労されたこともあったでしょうが、皆様の慈しみによって、ご覧のように心身ともに大きく成長しました。そして、今、皆様の心の中は大きな感動に満ちあふれていることでしょう。改めまして、そのお喜びに対し心からご祝福申し上げます。

今年は、新型コロナウイルス感染症対策で、4、5月と休校期間や分散登校、学校再開後も感染症予防で行事の削減や変更、更に新しい生活様式への対応と、これまでに経験したことのない生活スタイルを余儀なくされました。しかし、こうした中でも、社会情勢や周囲の状況を的確に判断し、慌てることなく、落ち着いた学校生活を送っている皆さんを見て、とてもたくましく思いました。

さて、貝塚中学校を巣立っていく皆さんに、一つお話をしたいと思います。これは、私がある高等学校に練習試合に行ったとき、体育館に掲示してあったものです。

実力の差は努力の差
実績の差は責任感の差
人格の差は苦勞の差
判断力の差は情報の差
真剣だと知恵が出る
中途半端だと愚痴が出る
いいかげんだと言い訳ばかり
本気でするから大抵のことはできる
本気でするから何でもおもしろい
本気でしているから誰かが助けてくれる
人間的成長なくして
バスケットボールの成長なし



いろいろ調べてみると、これは戦国武将の武田信玄の正範語録（せいはんごろく）を引用したもののようです。

これはバスケットボールだけでなく、野球、サッカー、勉強、趣味など、全てに通じるものです。

これは、何事にも一生懸命取り組もう。

「独り立ちできる心」をしっかりとどうということ。

高等学校の時代は、心や体を鍛える大事なときです。

そんな時、苦しいからといって、逃げ出したり、人のせいにして恨んだり、いらいらを人にぶつかけたりするようでは「独り立ちの心」は育ちません。

「独り立ちの心」は自分を鍛える努力の中で育つものです。そしてその努力に対しては、友達、先生、家族の人が必ず支えてくれるということです。

さて、4月からは、自分が選んだ新しい進路先での生活が始まります。新しい進路先の生活では中学校とは違う場面に多く出会い、戸惑うこともあるでしょう。しかし、皆さんは、中学校で多くのことを学び、様々な体験を通して社会生活に必要な術（すべ）を身に付けてきました。自信をもって対応していけば、どのような困難も乗り越えられるでしょう。

本日の卒業を新しい出発点として、更に心豊かでたくましい人間となることを強く希望します。

それでは、卒業生の皆さん。名残惜しいですが、お別れです。それぞれの進路先における皆さんのご活躍を祈るとともに、再びお会いできる日を楽しみにしています。

結びに、本日ご臨席賜ることはできませんでしたが、地域ならびに関係者の皆様に、重ねて心より感謝申し上げますとともに、本日ご列席の皆様のご健勝を心からお祈りし、卒業生の前途に幸多かれと祈念しまして、校長式辞といたします。

令和3年3月12日

千葉市立貝塚中学校 校長 北島 啓行

